

表 1 『ガバメント・アライブ!』の全体計画

パート	単元名	小単元名	○メインクエスションと研究課題（権力、政治、君）	分析
Ⅰ 権力と君	1 権力、権威、政府	1 権力、権威、政府の本質	○なぜ、あなたは権力、権威、政府のことを留意（ケア）すべきなのか？ ・上質な権力とは？あなたは、いかにしてそれを手に入れるか？	権力と自分との関係把握
		2 政治体制の比較	○社会において政治権力と経済権力は、いかにして分離すべきか？ ・自由は世界中を行進しているか？	自然状態
Ⅱ アメリカ政治の基礎	2 アメリカ政治の基礎 憲法本文 権利章典	3 アメリカ民主主義の起源	○どのようなアイデアが世界で最初の現代的民主国家を誕生させたのか？ ・私たちの共和国を維持し善くしていくためにあなたに何ができるのか？	自国の政治システムの批判的吟味
		4 合衆国憲法	○いかにしてなぜ憲法立案者は憲法によって権力を分立しようとしたか？ ・ゼロトレランスの教育政策は、生徒のデュープロセスを侵すか？	
		5 権利章典と市民的自由	○いかにして憲法によってあなたの権利が守られているか？ ・あなたは修正 1 条を支持しますか？	
		6 連邦主義：国家、州、地方権力	○いかにして連邦政治システムにおいて権力が流れているのか？ ・保険に入っていない場合、あなたはどのようになるのか？	憲法成立
Ⅲ 政治参加	3 政治的な参加と態度 修正 14 条	7 民主主義における市民参加	○いかにしてあなたが民主主義を変えることができるのか？ ・あなたは市民権テストに合格できるか？	自分にできる政治参加の研究
		8 政党、利益集団、公共政策	○政党と利益集団：いかにして私たちの政治的意思決定に影響を与えるか？ ・あなたのカラーは？赤、青、紫、それ以外？	
		9 世論とメディア	○メディアはあなたの政治的見解にどの程度、影響を及ぼしているのか？ ・真実に基づく広告は政治的公正をもらすか？	
		10 政治的キャンペーンと選挙	○選挙と投票：なぜ、それがあなたにとって問題なのか？ ・投票は自主的になされるべきか？	構成的な憲法共同体参加
Ⅳ 三権分立	4 立法府 憲法 1 条	11 法案作成者と議会	○有能な議員は何によって作られるか？ ・あなたが議員だとして、いかにして議会で投票するか？	三権の実態の研究
		12 連邦議会の法案策定	○法はいかにして作られるのか？ ・議会における妥協は裏切りか？	
	5 行政府 憲法 2 条	13 行政と官僚の長	○多くの役割を実行するのに必要な現代の大統領に求められる資質は？ ・あなたは大統領になりたいか？	
		14 連邦予算	○連邦政府の予算支出はあなたの税金を多く使用しているか？ ・あなたのための社会保障は？	
	6 司法府 憲法 3 条	15 裁判所、判事、法	○正義を実現するため、いかに合衆国司法システムが組織されているか？ ・陪審員の義務：もしあなたでなければ、誰が？	
		16 刑事システム	○犯罪が行わるとどうなるのか？：刑事システムは公正か？ ・社会、犯罪者、被害者：正義は誰に利益をもたらすのか？	権力批判 権力監視
Ⅴ 外交	7 合衆国と世界 外交権	17 アメリカの外交政策の創造	○いかにして合衆国は外交政策を行うべきか？ ・グローバル化は善か悪か、避けられないのか？	グローバルな問題の研究
		18 直面する国際問題	○いかにして国際機関は国際問題に効果的に対応できるか？ ・1 人の人間が世界を変えられるか？	外交の批判的吟味

National Constitution Center and Teacher's Curriculum Institute, *Government Alive! Power, Politics, and You-Student Edition*, Teacher's Curriculum Institute, 2009 を参照し発表者作成。分析欄は発表者による分析。

表2 小単元7「民主主義における市民参加:いかにしてあなたが民主主義を変えることができるのか?」単元構成

	学習テーマ	引き出したい学習活動・思考・知識	過程
導入	「ランチカウンターでの座り込み」 ・人種別の座席への抵抗運動写真 ◎いかにして普通の市民が、民主主義社会を変えることができるのか?	・1960年代に市民権が制限されていたアフリカ系アメリカ市民が憲法修正一四条(平等権)に基づき社会問題解決をめざした事例の分析。 ◎本小単元のMQ(メイン・クエスション)の把握	憲法に基づく市民参加の歴史と問題の感得
展開1 (読解)	1 セクション7.1の読解 ・政治学者のロバート・パットナムは、アメリカ人の市民参加の衰退研究	1 セクション7.1 問題の所在(市民社会の衰退)の把握 ・パットナム著『孤独なボウリング-アメリカのコミュニティの崩壊と再生』に基づく社会資本としての市民参加の減少とコミュニティ崩壊の問題状況の把握 2 テキスト読解による政治学の基礎概念の理解	政治学に基づく問題焦点化
	2 セクション7.2から7.5の読解 7.2「市民権、市民的権利、市民的責任」 7.3「アメリカ市民になるには」 7.4「アメリカ合衆国の政治文化」 7.5「いかにしてアメリカ人は市民生活に参加するのか」	2 セクション7.2から7.5の読解 7.2 合衆国憲法修正14条(市民権の定義・アフリカ系アメリカ人市民権獲得闘争史) 7.3 生誕市民と帰化市民・合法的永住権・市民権試験 7.4「自由(リバティ)」「平等」「民衆主義」「個人主義」「自由企業」「正義と法の支配」「愛国心」「楽観主義」「市民的義務」「リベラリズム」「保守主義」「社会主義」「リバタリアニズム」「環境主義」「中道主義」「穏健主義」 7.5 市民参加の形態「公的な会議への参加」「選挙のボランティア」「署名集め」「基金の立上げ」「デモンストレーションの組織」「インクルージョン・サービス・プロジェクト」市民参画の 카테고리「選挙スペシャリスト」「市民活動スペシャリスト」「選挙・市民活動のデュアルスペシャリスト」「参加しない市民」	単元全体で活用する憲法学・政治学の分析視点の習得
展開2 (視覚的な発見学習)	生徒用ハンドアウト7A「市民参加の形態」(ケース分析の視点の提示) 「1 プレスリリースを書く」「2 編集者に手紙を書く」「3 公的な機関に連絡を取る」「4 手紙を書くキャンペーンを組織する」「5 公的な組織で証言する」「6 問題に関するウェブサイトを作る」「7 インタビューや演説を行う」「8 署名を集める」「9 世論の調査をする」「10 キャンペーンや利益団体に所属する」「11 基金を組織する」「12 イニシアティブやレファレンダムに支持や反対する」「13 抵抗運動やボイコットを組織する」「14 公職選挙に立候補する」「15 利益団体をはじめる」 ◎以下のケーススタディでは15の市民参加に関する内容にアンダーラインを引き分析		Doing Democracyのための道具的知識の概括的把握
	○ケーススタディ1 「イクバルのための学校」	・児童奴隷労働者であったイクバル少年の児童労働解放活動、アメリカの中学校の訪問、イクバルの死、イクバルの遺志を引き継いだアメリカの中学生の市民参加の形態と成果である学校建設の研究。	Doing Democracyのための道具的知識の有用性の検証
	○ケーススタディ2 「ライアン・ホワイト・ケア・アクト」	・血液製剤の輸血が原因でHIVに感染したライアン少年と母親が様々な偏見や差別と闘いながら市民参加した形態と成果である連邦法「ライアン・ホワイト・ケア・アクト」の研究	
	○ケーススタディ3 「飲酒運転に反対する母親の会」	・13歳の娘が飲酒運転の犠牲者となった「飲酒運転に反対する母親の会」が展開した全国キャンペーン、支部づくり、大統領主催公聴会参加の研究	
	インフォメーション・マスター7「市民参加の形態」の日常文脈適用(有効な形態の選択) ・自分自身が暮らす町のリサイクル政策に関心を持つ市民グループ。 ・自分たちの学校の制服基準(ドレス・コード)を変えたいと考える高校生グループ。 ・自分自身が暮らす州の州税が高すぎると考え、税率の引き下げを求めたい女性個人。 ・企業の不当労働行為を広く訴え、企業の労働政策を変えようとする市民グループ。 ・子どもが通う学校にとって朝の黙祷の時間が非常に意義深いと考える家族。 ・他国における民族虐殺の犠牲者を救うために、派兵すべきと考える個人。		Doing Democracyのための道具的知識の日常文脈適用
終結 (まとめと応用)	「権力、政治とあなた」 ・合衆国市民権試験の模擬試験	・ペアの一人が試験官になり、一人が移民の役割。10問を試験官が出し、移民役が口頭で答える。試験官は答えが正しいか判断する。	構成的な憲法共同体への参加
	○簡潔な学習のまとめ ・生徒自身が関心のある社会問題を解決するための市民的参画の計画 ○より深いまとめ ・完全な市民活動プロジェクト実施	・「Doing Democracy」ツールキットを参照し、生徒が関心のある社会問題に適した参加形態を決め、どのように活用するか決める。 ・「Doing Democracy」ツールキットを丁寧に学習し、実際の市民活動プロジェクトを作り、サービス・ラーニングの時間などで、実践する。	Doing Democracyの計画 サービス・ラーニングにおける実施

・National Constitution Center and Teacher's Curriculum Institute, *Government Alive! Power, Politics, and You-Lesson Guide*, Teacher's Curriculum Institute, 2009を参照し発表者作成。なお、表中右のゴシックは発表者による分析。

表3 Doing Democracy : A Toolkit for Civic Action がめざす市民的資質・能力

セクション	ツール（道具的知識）の概要	学習内容	分析
導入	Doing Democracy : ツールキットの活用方法	A 社会科における民主主義学習とリンクさせて活用 B サービス・ラーニングにおいて活用	方法
セクション1 情報を収集,分析,評価する	(1) 公的な会議を傍聴する 教育委員会、公共事業管轄委員会、市議会、専門委員会、州議会、連邦議会の傍聴	・なぜ、公的な会議を傍聴するのか？ ・いかにして、公的な会議の傍聴を有意義なものにするか？ ○ワークシート1「公的な会議傍聴」	社会問題に関する情報収集
	(2) 公開裁判に出席する 裁判は争いのある問題に対して、双方が証拠を提示し、陪審または裁判官が判決を下す。刑事と民事がある。	・なぜ、公開裁判を傍聴するのか？ ・いかにして、傍聴する公開裁判を見つけるか？ ・公開裁判の傍聴ではどのように行動するか？ ○ワークシート2「公開裁判傍聴」	
	(3) ニュースメディアを分析する 批判的視聴者、情報消費者は、ニュースや情報をダイジェストするとともに聴衆に与える影響を評価する。	・なぜ、ニュースメディアを分析するのか？ ・いかにして、あなたはニュースメディアを批判的に分析することができるか？ ○ワークシート3「ニュースメディア分析課題」	
	(4) 専門家にコンタクトしインタビューする コミュニティにおける公的機関、企業、非営利団体、学術機関の専門家にコンタクトしインタビューする。	・なぜ、専門家にコンタクトしインタビューするのか？ ・いかにして、コンタクトとインタビューをベストなものにするか？ ○ワークシート4「専門家へのコンタクトとインタビュー」	
セクション2 社会的立場のある人のリサーチとコミュニケーションする	(1) 公的問題をリサーチする 公的問題のリサーチは、インターネット、本、新聞、雑誌からの情報を統合し、あなたが擁護する立場を事実に基づき確かめる。	・なぜ、リサーチをするのか？ ・いかにして、効果的なりサーチができるか？ ○ワークシート1「情報と資料の評価」	社会問題のキーパーソンとの接触
	(2) 新聞・雑誌等の編集者に手紙を書く 公的問題に対するあなたの意見を編集者に送り、受理された場合「編集者への手紙」などで公開される。	・なぜ、編集者に手紙を書くのか？ ・いかにして、効果的な手紙を編集者に書くか？ ○ワークシート2「編集者への手紙の書き方」	
	(3) 請願を作り送る 校長、地方議会、教育委員会、議会から大統領まで、権力のある立場の人に請願を書く。	・なぜ、請願を使うのか？ ・いかにして、効果的な請願を書き、送るか？ ○ワークシート3「請願のモデルと書き方」	
	(4) プレス・リリースを書く 新聞、ラジオ、テレビ、インターネットなどのメディアに、イベント、調査、研究などの事前情報を流す。	・なぜ、プレス・リリースを使うのか？ ・いかにして、効果的なプレス・リリースを書くか？ ○ワークシート4「プレス・リリースのモデル」	
	(5) 公共組織において発言する 学校の委員会、近隣の協会、市議会などにおいて、発言する。	・なぜ、発言するのか？ ・いかにして、公共組織において効果的な発言をするか？ ○ワークシート5「公共組織における発言の準備」	
セクション3 見解の相違がある人を理解し尊重する	(1) 市民的討論に参加する 市民的討論は、思慮深い省察、背景の認識、異なった見解の尊重、解決のための研究に基づき、公的論争問題を真剣に議論する。	・なぜ、市民的討論に参加するのか？ ・ダイアログがディベートより効果的なのはいつか？ ○ワークシート1「現代的な政治文化を検証する：ダイアログかディベートか？」	社会問題に関する市民的討論への参加
	(2) 地域フォーラムや地域ディベートを企画し主催する 地域フォーラムや地域ディベートは、地域に情報を提供し、議論を整理する。	・なぜ、地域フォーラムや地域ディベートを開催するのか？ ・地域フォーラムや地域ディベートの企画や主催にはどのような活動が含まれるか？ ○ワークシート2「地域フォーラムや地域ディベート企画のチェック・リスト」	
	(3) 世論調査を作り実施する 世論調査はあるグループがあるトピックや問題に対して、どのように考えているのかを問う質問のセットである。	・なぜ、世論調査を作り実施するのか？ ・いかにして、よくデザインされた調査を実施するのか？ ○ワークシート3「あなた自身の意見調査をデザインする」	
	(4) インターネットに意見を掲示する インターネットには、様々な方法で意見を掲示する方法がある。	・なぜ、インターネットに意見を掲示するのか？ ・いかにして、効果的にあなたの意見をインターネットに掲示するか？ ○ワークシート4「インターネットにおける政治的な見解の調査と掲示」	

セクション4 公職者と協同 して政策に影響 を与える	(1) 政府の監視人になる 政府の監視人は、公的に選任され、政府が人々の利益を最大化するように行動しているか調査するモニターである。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、政府の監視人になるのか？ いかにして、効果的な政府の監視人になるのか？ ○ワークシート1「政府監視人選定委員会への応募シート」	社会問題解決のための政治活動
	(2) 公職者とコミュニケーションする 公職者とのコミュニケーションは、あなたが考えているより簡単であり、市民のニーズをいつも聴きたいと考えている。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、公職者とコミュニケーションするのか？ いかにして、効果的な公職者とのコミュニケーションができるか？ ○ワークシート2「公的機関へのEメールのサンプル」	
	(3) 手紙を書くキャンペーンをする ある問題に対する影響力や権力のある人に、個人で手紙を書くキャンペーンを展開する。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、手紙を書くキャンペーンを展開するのか？ いかにして、効果的なキャンペーンを展開するか？ ○ワークシート3「手紙を書くキャンペーンの企画ガイド」	
	(4) 問題へのロビー活動をする ロビー活動は、問題へのあなたの立場を伝え、支持してもらうために政策立案者と直接会話する。会議場のロビーでロビイングのため待機する。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、ロビー活動すべきなのか？ いかにして、効果的なロビー活動をするか？ ○ワークシート4「ある問題に対するロビー活動の準備」	
セクション5 選挙に参加する	(1) 選挙登録を行い準備する 投票の準備は、法的な投票者となるための選挙登録と、候補者や票が割れる争点に関する自己教育の両方を含む。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、投票すべきなのか？ いかにして、知的に投票の準備ができるか？ ○ワークシート1「投票に関する情報を評価する資料」	社会問題解決のための選挙活動
	(2) 公職選挙の候補者を評価する 公職選挙の候補者を評価することは、様々なレベルの政府におけるあなたの代表者を決めることである。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、公職の候補者を評価するのか？ 候補者を評価する最も優れた方法は何か？ ○ワークシート2「公職の候補者の評価」	
	(3) 政治的キャンペーンのボランティアをする 政治的キャンペーンは、議員選挙において、ハガキ、電話、イベントへの参加、テレビやラジオ広告における投票の呼びかけや基金の募集を行う。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、政治的キャンペーンのボランティアをするのか？ いかにして、政治的キャンペーンを効果的に継続するのか？ ○ワークシート3「私の人生におけるキャンペーン参加歴」	
セクション6 コミュニティにおいて行動 するために協同する	(1) 公的なデモンストレーションを組織する 公的なデモンストレーションは、規制に反対する、ある候補者を支持する、ホームレスや地球温暖化と行った論争問題に対する見解や気持ちを公に示す行動である。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、デモンストレーションを組織するのか？ いかにして効果的にデモンストレーションを組織するか？ ○ワークシート1「あなたのデモンストレーション計画」	社会問題解決のための組織づくり
	(2) 募金活動をする 募金は、ある運動、個人、組織の活動資金を得るためのものである。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、募金活動をするのか？ いかにして、募金活動を成功させるか？ ○ワークシート2「あなたの募金活動計画」	
	(3) 市民団体をつくる 市民団体は、公的なミッションのために組織される団体であり、例えば反飲酒運転、人間らしい住環境といった新しいテーマを掲げる。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、市民団体を組織するのか？ いかにして、市民団体をはじめるか？ ○ワークシート3「市民団体をスタートするためのブレインストーミングガイド」	
	(4) バイコット運動を組織する バイコット運動は、フェアトレード、環境に配慮した商品、売上の一部が善良な運動に募金される商品などを積極的買う運動である。	<ul style="list-style-type: none"> なぜバイコット運動をするのか？ いかにしてバイコット運動を組織するのか？ ○ワークシート4「バイコット運動」	
	(5) 効果的に会議を運営する 効果的な会議は、全ての参加者が圧力や恐れ的情感から解放され、自由に意見を共有する雰囲気が大切である。	<ul style="list-style-type: none"> なぜ、効果的な会議を運営する方法から学ぶのか？ いかにして効果的に会議を運営するのか？ ○ワークシート5「効果的な会議の計画」	
終結	生徒の市民的参画レベルの評価	評価表を使用した市民性の自己診断	評価

・National Constitution Center and Teacher's Curriculum Institute, *Government Alive! Power, Politics, and You-Doing Democracy*, Teacher's Curriculum Institute, 2009 を参照し発表者作成

資料1

小単元7「民主主義における市民参加—いかにしてあなたが民主主義を変えることができるのか?」の学習過程

●単元の概要

- ・生徒たちは、合衆国市民としての権利と責任及び、いかにして市民があらゆるレベルの政府に影響を与えることができるかを学習する。
- ・導入：生徒たちは、「ランチカウンターの座り込み運動」の写真から、どのような社会問題が起こり、写真に写っている人々はどのような対応と策略を使って、変革に挑戦しようとしているのか分析する。
- ・活動：視覚的な発見学習によって、生徒たちは地域社会、国家、国際社会といった様々なレベルに変化をもたらすための、個人や集団による市民参加の形態を確認する。
- ・実行：生徒たちは、特定の論争問題に対する行動計画を開発し確認する。

●単元の目的

本小単元のテキストを読み、クラスでの学習活動に参加することによって、生徒は以下のことができる。

- ・合衆国市民の権利と責任に関する合衆国市民権試験に合格する。
- ・政治の現状を変革または維持するための方法を分析する。
- ・市民参加の形態を確認する。
- ・地域社会、国家、国際社会といった様々なレベルの問題を解決するための計画を開発する。

	教師の主な発問・支援	学習者から引き出したい学習活動・思考
導入（プレビュー） 憲法に基づく市民参加の歴史と問題の感得（社会的正義の直観）	<p>■導入「ランチカウンターの座り込み」</p> <p>1 資料 7A「ランチカウンターの座り込み」の写真に注目しましょう。</p> <p>① あなたが見ている写真の詳細は、どのようなものですか？</p> <p>② この人たちは座ることで、どのような行動をしていますか？</p> <p>③ この人たちが訴えようとしている問題は、どのような問題とあなたは考えますか？</p> <p>④ 彼らの行動の結果は、どのようなものだったと思いますか？</p> <p>2 生徒がイメージできるように背景となる情報を与える。 ・あなたは、あなたが信じることのために、このような行動を取ることができますか？</p>	<p>1 クラス全員で写真を分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの発問について、できるだけクラス全体で議論する。 ・クラスで出た意見をできるだけ各自のノートに記入する。 <p>2 背景となる情報 「ランチカウンターの座り込み」は、1960年代において市民権が制限されていたアフリカ系アメリカ人が合衆国憲法修正14条（平等権）に基づき展開した市民参加による社会問題解決の事例である。</p>
	導入ケーススタディー「ランチカウンターの座り込み」	
	<p>1960年代アメリカ南部の多くの商店が、人種を分離するランチカウンターを設置していた。それに抵抗する人々は、座り込み運動を展開し、人種分離の方針を変えることをめざした。この写真は、大学生がワルグリーンランチカウンターにおいて、座り込みをしている様子を写したものである。ワルグリーンをはじめ他の商店は、彼らに食事を提供せず、店を閉めた。</p> <p>公民権運動の主要な活動家であり、ミシシッピの大学教授である J.R. ステラーは、ミシシッピ州ジャクソンにおけるワルグリーン商店における座り込みに参加した。彼は、1960年代当時の座り込みのなかで、最も暴力的な行為を受けたと説明する。多く群衆が集まり、警察官に見守られながら彼らは3時間座り込みをした。拳で殴られ、ニッケル製の武器や砂糖入れのガラス片、火が付いたタバコを投げられた。しかし、座り込みの結果、人種分離のカフェやランチカウンターは方針を変えた。</p>	<p>3 本小単元では、市民になるプロセスと市民としての権利と義務を研究する。</p>
<p>3 プレビューと本単元との関わりを説明する。 本単元全体を通して以下の問題を考える。</p> <p>① 合衆国市民としてどのような行動できますか？</p> <p>② 市民が意味するものは何ですか？</p> <p>③ いかにして普通の市民が、合衆国のような民主主義社会に影響を及ぼすことができますか？</p>		

<p>展開1 (リーディング)</p> <p>政治学に基づく問題焦点化と単元全体で活用する憲法学・政治学の分析視点の習得</p>	<p>本単元のテキストを読むことによって、「市民権」「合法的永住権」「未申請の移民」「帰化」「イデオロギー」「リベラリズム」「保守」「市民社会」の用語を使えるようになりましょう。</p> <p>1 セクション 7.1 を読み問いに答えましょう。</p> <p>①政治学者のロバート・パットナムは、この 150 年、アメリカ人の市民的・社会的・宗教的グループへの参加が、いかに変化したといっていますか？</p> <p>②あなたはこの変化は、心配の種と考えますか？</p> <p>2 視覚的発見学習の前に、セクション 7.2 から 7.5 を完全に読解しましょう。</p> <p>7.2 「市民権、市民的権利、市民的責任」</p> <p>7.3 「アメリカ市民になるには」</p> <p>7.4 「アメリカ合衆国の政治文化」</p> <p>7.5 「いかにしてアメリカ人は市民生活に参加するのか」</p>	<p>テキストの本単元の冒頭にある「市民権」「合法的永住権」「未申請の移民」「帰化」「イデオロギー」「リベラリズム」「保守」「市民社会」のキーワードの説明を読む。</p> <p>1 セクション 7.1</p> <p>①ロバート・パットナムは、2000 年に『孤独なボウリング - アメリカのコミュニティーの崩壊と再生』を出版し、各地域に存在し多数の会員がいたボウリングクラブが衰退し、一人でボウリングをする人が増加した現象をはじめ様々な事例を研究し市民参加の減少が市民社会を崩壊させているとした。</p> <p>②様々な答え</p> <p>2 テキストの該当ページを読解する。</p> <p>7.2 合衆国憲法修正 14 条によって市民権が定義された。アフリカ系アメリカ人は、市民権獲得のため、長い努力を重ねた。市民には権利と責任がある。</p> <p>7.3 アメリカ市民は、合衆国生誕の市民と帰化した市民がある。合法的永住権には法的な地位が保障される。</p> <p>7.4 アメリカ人は、「自由 (リバティ)」「平等」「民衆主義」「個人主義」「自由企業」「正義と法の支配」「愛国心」「楽観主義」「市民的義務」といった政治的価値を共有している。しかし、「リベラリズム」と「保守主義」の 2 大イデオロギーが存在する。また、「社会主義」「リバタリアニズム」「環境主義」、さらに「中道主義」「穏健主義」といったイデオロギーもある。</p> <p>7.5 テキストの冒頭で政治学者のロバート・パットナムが述べているように市民社会は、市民の参加が民主主義の「社会資本」となっている。市民参加の形態には、「公的な会議への参加」「選挙のボランティア」「署名集め」「基金の立上げ」「デモンストレーションの組織」「インクルージョン・サービス・プロジェクト」などがある。また市民参画のカテゴリーには、「選挙スペシャリスト」「市民活動スペシャリスト」「選挙・市民活動のデュアルスペシャリスト」「参加しない市民」がある。</p>
<p>展開2 (視覚的な発見学習)</p> <p>道具的知識の概括的把握</p>	<p>視覚的な発見学習</p> <p>1 視覚的な発見学習の導入</p> <p>① これから 3 つの「写真」を分析し、人々はどうのように社会問題を解決するために活動したか予測して行きましょう。ケーススタディを通して社会問題に対して、個人や集団がどのような市民参加をしてきた明確にしていきましょう。</p> <p>2 市民参加の形態に関するペア学習</p> <p>・生徒を二人組のペアにして、生徒用ハンドアウト 7A「市民参加の形態」を配ります。</p>	<p>1 写真分析のねらいを把握する。</p> <p>・市民参加の形態に関する用語や内容をお互いに説明し、最も良い説明を選ぶ。</p>
<p>生徒用ハンドアウト 7A 「市民参加の形態」 (Doing Democracy のための道具的知識)</p> <p>「1 プレスリリースを書く」「2 編集者に手紙を書く」「3 公的な機関に連絡を取る」「4 手紙を書くキャンペーンを組織する」「5 公的な組織で証言する」「6 問題に関するウェブサイトを作る」「7 インタビューや演説を行う」「8 署名を集める」「9 世論の調査をする」「10 キャンペーンや利益団体に所属する」「11 基金を組織する」「12 イニシアティブやレファレンダムに支持や反対する」「13 抵抗運動やボイコットを組織する」「14 公職選挙に立候補する」「15 利益団体をはじめめる」</p>		

Doing Democracy のための道徳的知識の有用性の検証 1 (社会的正義感覚の鍛錬 ①)	<p>3 ケーススタディ 1 「イクバルのための学校」</p> <p>①資料 7B 「イクバルのための学校」の写真を分析しましょう。写真から何が分かりますか？まず写っているイクバル少年について説明します。</p> <p>② 子どもの奴隷労働問題を解決するために、イクバルや仲間はどうな活動を行いましたか？</p> <p>③ 活動の結果は、どのようなものでしたか？</p> <p>4 生徒による最初のケーススタディの分析</p> <p>・生徒を二人組のペアにして、生徒用ハンドアウト 7B 「市民参加のケーススタディ」を配ります。</p>	<p>①この少年はイクバル・マッシというパキスタンの少年です。イクバルは絨毯工場で奴隷労働者として6年間働いてきました。イクバルは工場から逃げ出した後、子どもは工場で働くより学校に行くべきだと主張した。</p> <p>・ハンドアウト 7A に書かれた 15 の市民参加に関する内容にアンダーラインを引く。</p>
<p>市民参加ケーススタディ 1 「イクバルのための学校」(要約)</p> <p>イクバルは4歳の時に父親の12ドルの借金返済のため絨毯工場に売られ、10歳に工場を逃げ出すまでの6年間、週6日、1日12時間から14時間の奴隷労働に従事した。何度か逃走もしたが、捕まり暴力を受け鎖でつながれた。イクバルは10歳の時に、工場を脱走し A 債務労働解放をめざす団体の集会に参加し、その団体の支援も得て自由の身となった。その後、イクバルは学校に通うとともに B 子どもの奴隷労働解放運動を展開し、12歳の時に、人権運動に多大な貢献をした若者に贈られるリーボック人権賞を受賞した。授賞式に参加するためにアメリカを訪問したイクバルは、マサチューセッツ州のブロード・メドウズ C 中学校を訪れ、ロン・アダムのクラスの7学年の授業に参加した。世界には2億人の児童労働者が存在すると主張し、生徒たちと意見交換をした。彼は全米で多くの共感者を獲得し、世界的にも知られる存在となり帰国した。</p> <p>帰国後、イクバルは児童労働から利益を得るグループから殺害予告も受けながら活動を続けたが、5ヶ月後、銃で撃たれて殺害された。イクバルの死を知ったブロード・メドウズ D 中学校の生徒たちは、彼の遺志を継ぎ、イクバルが目指していた故郷のパンジャブ州での学校作りの活動を引き継ぐこととした。彼らの運動のスローガンは「弾丸は夢まで殺せない！」である。彼らは E イクバルの短い生涯と夢を説明し、学校建設のための募金を募った。イクバルが12ドルで売られ、12歳で亡くなったことにちなんで、12ドル募金を募った。F 全米に6000通の E メールを送り、3000通の返信があり、147000ドルの募金を集め、イクバルの死から半年後に4歳から12歳までの子ども300人が通う学校をパキスタンに建設した。</p> <p>ブロード・メドウズ中学校の生徒たちは、その後も児童労働解放のための運動を継続し、G ある生徒は連邦議会の児童労働に関する公聴会で発言し、また他の生徒は国連で演説した。現在でも様々な支援活動を展開している。</p> <p>解答例：下線 A 「3 公的な機関に連絡を取る」 B 「10 キャンペーンや利益団体に所属する」 C 「5 公的な組織で証言する」 D 「10 キャンペーンや利益団体に所属する」 E 「11 基金を組織する」 F 「4 手紙を書くキャンペーンを組織する」 G 「5 公的な組織で証言する」</p>		
	<p>5 本ケーススタディーに見られる市民参加に関するレビューをしましょう。</p> <p>① 人々の行動は変化をもたらしましたか？もしそうであるなら、誰にとってですか？</p> <p>② あなたは、ケーススタディのような市民的な行動をやり遂げることはできますか？なぜ、そう思い、なぜ、そう思いませんか？</p>	<p>5 ケーススタディの「市民参加の形態」を分析</p> <p>① イクバルの活動は、アメリカの中学生に市民参加の大きなきっかけを与え、全米が児童労働を社会問題と認知し、パキスタンの学校建設に募金し、ついに学校を建設した。</p> <p>② 様々な答え</p>
Doing Democracy のための道徳的知識の	<p>6 ケーススタディ 2 「ライアン・ホワイト・ケア・アクト」</p> <p>① 資料 7C の写真を確認しましょう。</p> <p>② エイズ教育の不足の問題に対して、ライアンと他の人々はどのような活動ができましたか？また行動の結果は、いかなるものでしたか？</p>	<p>① この写真には、ライアン・ホワイトと彼の母親が写っている。ライアンはインドアのティーンエイジャーであり、幼い頃に血液製剤の輸血が原因でエイズに感染した。それからライアンは様々な偏見や差別と闘うこととなった。</p> <p>② 生徒用ハンドアウト 7B 「ライアン・ホワイト・ケア・アクト」を分析する。(ハンドアウト 7A に書かれた 15 の市民参加に関する内容にアンダーラインを引く。)</p>

<p>有用性の検証2 (社会的正義感の鍛錬②)</p>	<p style="text-align: center;">市民参加ケーススタディ2「ライアン・ホワイト・ケア・アクト」(要約)</p> <p>ライアン・ホワイトは1971年にインディアナ州ココモに生まれた。血友病の治療として輸血治療を受けていたが、汚染された血液製剤から13歳の時にエイズに感染した。医師から余命6ヶ月と宣言された彼は、通常の生活を続けたいと思ひ、学校にも通いたかったが、1980年代初頭エイズに関する一般的な知識は乏しく学校、教師、保護者たちが感染を恐れた。</p> <p>インディアナ州の保健局は、ライアンが登校しても安全であるとガイドラインを示したが、学校はライアンの登校を拒否した。彼の母親ジェーンは、<u>A 地方裁判所にライアンの復学を訴える裁判を起こしたが、地域の人々はライアンの母親を「エイズ感染を防げなかった愚かもの」と呼び、教会でさえも人々はライアンに握手をしなかった。さらにライアンの自宅の窓に銃弾も撃ち込まれた。</u></p> <p><u>B ライアンは間もなく自分の人生を著作として全米に発表し、C 国中を講演で周リエイズへの偏見をなくすことに尽力した。</u>この活動に多くの俳優、音楽家、スポーツ選手、政治家が賛同した。最終的にライアンは勝訴し、復学を認められたが、多くの嫌がらせにあったため、インディアナ州のシセロに引越し学校に通った。また、<u>D 彼はABC映画の「ライアン・ホワイト物語」に出演することを承諾した。</u></p> <p>彼はエイズに関する事実を教育することの大切さを感じ、<u>E 大統領が主催するエイズに関する特別委員会に出席し、ココモでの経験を証言し、積極的にF エイズ教育に役立つための活動を行った。</u>ライアンは18歳4ヶ月で亡くなったが、数千人の人々が葬儀に参加した。ライアンの死後、<u>G 母親はエイズ教育のための基金を創設し、多くの聴衆の前で講演した。さらにH「ライアン・ホワイト・ケア(エイズ緊急対策)・アクト(法)」を成立させるため議会へのロビー活動も進め、署名活動も展開し、ついに「ライアン・ホワイト・ケア・アクト」を成立させた。</u></p> <p>解答例 A「5公的な組織で証言する」B「6問題に関するウェブサイト(情報提供の場)を作る」C「7インタビューや演説を行う」D「10キャンペーンや利益団体に所属する」E「5公的な組織で証言する」F「10キャンペーンや利益団体に所属する」G「11基金を組織する」H「12イニシアティブやレファレンダムに支持や反対する」</p>
<p>Doing Democracyのための道徳的知識の有用性の検証3 (社会的正義感の鍛錬③)</p>	<p>7 ケーススタディ3 「飲酒運転に反対する母親の会」</p> <p>① 写真から何がわかりますか?</p> <p>② 飲酒運転に関わる問題を解決するために、人々はどのような行動を取ることができますか?</p> <p style="text-align: center;">市民参加のケーススタディ3「飲酒運転に反対する母親の会」(要約)</p> <p>1980年カリフォルニアの美しい晴れの日、13歳のカーリー・ライトナーは、3日間飲酒を続けた47歳の男性が運転する自動車にはねられ亡くなった。運転手からは基準値を超えるアルコールが検出され、飲酒のため正常な運転ができない状況であった。</p> <p>カーリーの母親であるキャンディー・ライトナーは、<u>A 飲酒運転の問題を解決するために行動することを決めた。</u>その当時は、飲酒運転は大きな問題と考えられていなかったが、死亡事故の60%はアルコールが原因というデータもあった。キャンディーは、この問題への関心を集め<u>B 飲酒運転から人々を守る法律の制定をめざした。</u></p> <p>キャンディーは、<u>C 飲酒運転の犠牲者を擁護し、その権利と利益を守る「飲酒運転に反対する母親の会」をつくった。</u><u>寄付金を集めることと同時に、D カリフォルニア州知事に飲酒運転に関する特別委員会を設置することを求めた。</u>キャンディーとともに「飲酒運転に反対する母親の会」を設立したシンディは同じく娘が飲酒運転事故の犠牲者であった。<u>E 二人は共同で、飲酒運転に反対する記者会見を開き、彼女たちと娘に起こったことを心込めて語り、飲酒運転は一転して全米の最重要な政治的課題となった。突然、関心のある市民と犠牲者が法律を変えるために協同することになった。F「飲酒運転に反対する母親の会」は、全米の地域をくまなく支部をつくり、G 新聞やテレビにおいて、自分たちに起こったことを語った。</u></p> <p>会は、1982年には全米に100以上の支部を持つ組織に成長し、<u>H レーガン大統領が設置した飲酒運転に関する公聴会において、メンバーが招聘されるまでになった。</u>1983年までには、129の新しい反飲酒運転法が全米中で成立した。</p> <p>さらに「飲酒運転に反対する母親の会」は、<u>21歳未満の特にティーン・エイジャーに飲酒運転事故を起こす割合が多いことから、I 全米で飲酒可能年齢を21歳以上する運動も展開し、全米を4000マイル行進するデモンストレーションも行った。</u>また1991年には、<u>J 記者会見とプレスリリースの内容に、飲酒運転事故の少ない州のランキングを出すなどの活動も行った。</u></p> <p>様々な成果をあげている「飲酒運転に反対する母親の会」であるが、2000年代に入っても新しい活動を展開している。</p> <p>解答例: A「15利益団体をはじめ」B「12イニシアティブやレファレンダムに支持や反対する」C「10キャンペーンや利益団体に所属する」D「3公的な機関に連絡を取る」E「1プレスリリースを書く」F「15利益団体をはじめ」G「7インタビューや演説を行う」H「5公的な組織で証言する」I「13抵抗運動やボイコットを組織する」J「1プレスリリースを書く」</p>

Doing Democracy のための道具的知識の適用	<p>8 生徒たちが学んだことの振り返りと報告会 インフォメーション・マスター7「市民参加形態の適用」</p> <p>① 各状況に、効果的でない参加形態から効果的な参加形態まで、並べなさい。</p> <p>② ハンドアウト7「市民参加の形態の適用」の各状況に、自分のペアが担当する参加形態を当てはめるとどうなるか考えます。</p> <p>③ 自分のペアが担当する参加形態の有効性を主張するディベートを行いなさい。一つの状況が終われば、次の状況を分析しなさい。</p>	<p>・ハンドアウト7Aに記載された15の市民参加の形態の一つを各ペアに割り当て、自分が担当する参加形態を大きな紙に書く。各ペアは、一つの参加形態を担当するか、近い形態と4人組になってもよい。</p>
	<p align="center">インフォメーション・マスター7「市民参加の形態」の以下の状況への適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身が暮らす町のリサイクル政策に関心を持つ市民グループ。 ・自分たちの学校の制服基準（ドレス・コード）を変えたいと考える高校生グループ。 ・自分自身が暮らす州の州税が高すぎると考え、税率の引き下げを求めたい女性個人。 ・企業の不当労働行為を広く訴え、企業の労働政策を変えようとする市民グループ。 ・子どもが通う学校として朝の黙禱の時間が非常に意義深いと考える家族。 ・他国における民族虐殺の犠牲者を救うために、派兵すべきと考える個人。 	
「権力、政治とあなた」セクション 構成的な憲法共同体への参加	<p>●「権力、政治とあなた」のセクションの導入</p> <p>まずこの活動のためのペアを作り、合衆国市民権試験の導入としての説明をします。</p>	<p>●ペアの一人が試験官になり、一人が移民の役する。10問を試験官が出し、移民役が口頭で答える。試験官は答えが正しいか判断する。</p>
	<p align="center">小単元3評価シート「合衆国市民権試験」</p> <p>1 市民社会の基本要素と考えられるのは？ A. 自発的に集結した市民 B. 世論に影響を与える市民 C. 一般的に受容される行動 D. 地域の公務員</p> <p>2 合衆国憲法において市民権を定義しているのは？ A. 前文 B. 第6条 C. 権利の章典 D. 修正第14条</p> <p>3 帰化したい移民は？ A. 21歳以上 B. 英語での会話 C. 高校卒業検定合格 D. 少なくとも8年以上合衆国で生活</p> <p>4 以下の言葉の定義は？「ある社会が価値、信条、態度を共有する社会的フレームワーク」 A. 市民的徳 B. 公共善 C. 法の支配 D. 政治文化</p> <p>5 リベラル派よりも保守派が好む政府の介入は？ A. 保健 B. 道徳的問題 C. ビジネス D. 消費者保護</p> <p>6 他国から合衆国に違法に滞在している人々は？ A. 合衆国生誕者 B. 帰化した市民 C. 合法永住者 D. 非合法的な移民</p> <p>7 政府の規制を最小限にすべきであるとする政治思想は？ A. 保守主義 B. リベラリズム C. リバタリアニズム D. 社会主義</p> <p>8 「私たちは限りある資源に対して、持続可能な社会を形成し、次世代に現世代の負の遺産を引き継がせない」とするイデオロギーを掲げるグループは？ A. 緑の党 B. リバタリアン党 C. 共和党 D. 民主党</p> <p>9 グリーンカードを持つ市民の権利は？ A. 就労 B. 陪審員 C. 選挙権 D. 公的機関での勤務</p> <p>10 合衆国において、人種、性別、信教、出生地に関わらず権利を保護する規定は？ A. プレッシェー対ファーガソン判決 B. 第14条 C. 1964年公民権法 D. ブラウン対教育委員会</p> <p>正解 1. A 2. D 3. B 4. D 5. B 6. D 7. C 8. A 9. A 10. C</p>	
	<p>3活動の報告</p> <p>・もしあなたが今、合衆国市民になるための試験を受けたら、合格できますか？</p> <p>・この試験の結果が良ければ、合衆国市民は民主主義を変えることができますか？</p> <p>・全ての合衆国市民が彼らの市民性を維持するために、5年ごとにこの試験を受けるべきですか？</p>	<p>生徒はすでに社会科や歴史の授業で、合衆国帰化試験の内容は学んでいることを思い出す。</p>
<p>○学習のまとめ</p> <p>A: 簡易なまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラス内で教科書の振り返りをする。 <p>B: より深いまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全な市民活動プロジェクトを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が関心のある社会問題を解決するための市民的参画の計画を考える <p>A: 「Doing Democracy」ツールキットを参照し、生徒が関心のある社会問題に適した参加形態を決め、どのように活用するか計画を教室で検討しまとめる。</p> <p>B: 「Doing Democracy」ツールキットを詳細に学習し、実際の市民活動プロジェクトを作り、サービス・ラーニングの時間などで、実践する。</p>	

・National Constitution Center and Teacher's Curriculum Institute, *Government Alive! Power, Politics, and You-Lesson Guide*, Teacher's Curriculum Institute, 2009, pp75 - 83 及び National Constitution Center and Teacher's Curriculum Institute, *Government Alive! Power, Politics, and You-Lesson Masters*, Teacher's Curriculum Institute, 2009, pp95 - 103 を参照し作成。